

浜松市議会議員

田口章

後援会
だより

お気軽にどうぞ
昼 053 - 447 - 3820(働絵)
夜 053 - 440 - 7100(詫)

平成20年9月1日

創ろう！元気な浜松

“ワースト1”返上に向けて

「(仮称)浜松市交通安全条例(案)」のパブリック・コメントを募集します

読者のみなさんの中には「ワースト1」と聞くと、「佐鳴湖」のことを思い浮かべる人が多いかもしれませんね。

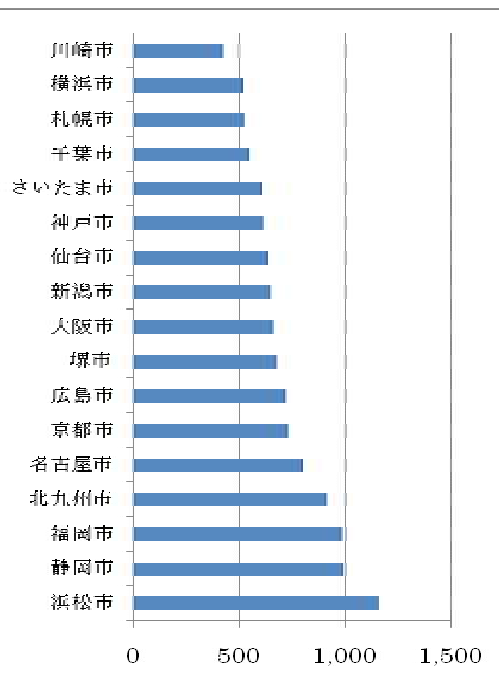
今日、紹介する「ワースト1」は佐鳴湖ではなく交通事故についてです。

浜松市は人口10万人あたりの人身事故の件数が1159.3人と政令市で最も多くなっています(グラフ参照)。

この事態を受けて、浜松市は「(仮称)浜松市交通安全条例(案)」の策定に向け検討を始めました。

平成21年4月からの条例施行を目標に、市民のみなさんから広く意見を聞くために「パブリック・コメント(略称:パブコメ)」を募集します。

「条例」はつくるだけではダメ。キチンと実行できるものでなければいけません。とりわけ今回は、交通安全という市民生活に密着した課題ですので、多くの方からのご意見を期待しています。



「パブリック・コメント」とは、市が条例や計画など基本的な施策を立案するときに、事前に案を公表し、市民の皆さんから幅広く、意見、要望をうかがい、施策に反映していこうという制度です。

今回の「(仮称)浜松市交通安全条例(案)」は9月12日(金)から、浜松市のホームページや区役所、公民館、サービスセンターなどで公表されます。

ご意見やご要望は、郵便やFAX、Eメールで浜松市役所 交通政策課へ提出していただきます。

みなさんからいただいたご意見や要望には、市の考え方をお示しし、盛り込むことができるものについては、今後の施策に反映していきます。

以前、授業でパブコメを取り上げてくれた学校もあるようですが、子どもたちやお年寄りのみなさんの声も反映して条例を作りたいものですね。



9月議会トピックス

9月定例会が9/4から始まります。一般会計の補正予算額は約62億円。総会計では70億円規模となっています。大きなものとしては「フォルテの売却(歳入25.8億円)」、「企業誘致用地の取得(17.9億円…浜北区染地台)」があります。

それ以外は国の補助事業の確定などに伴う補正が主なものです。

市債発行額は34億円減額しています。また、当初予算では、財政調整基金(貯金)の取り崩しを20億円予定していましたが、これを取りやめました。貯金を残しつつ借金を減らしています。

紙面の関係もあり、多くをお伝えできませんが、具体的施策など3点をご紹介します。

スクールソーシャルワーカーの配置

いじめや不登校に対する施策として注目されている新たな施策です。

教育知識の他、社会福祉士や精神保健福祉士などの専門知識を持つ「スクールソーシャルワーカー」を配置し、生徒・保護者・教師への対応、家庭や地域との連携、学校内のチーム体制づくりなどを支援します。

今回の補正予算では、5人が東区の5つの中学校に常駐、その他の学校には、全体で3人を派遣させることになっています。

私は今、中学校のPTA会長をしていますが、これらは非常に身近な問題で、しかも子どもの人権にも関係する大きな問題です。今回の制度が突破口になるか注目していきます。

太陽光発電への補助金

CO2削減は地球規模の課題です。そうした中、自宅のCO2排出抑制のため、太陽光発電システムを導入する家庭が増えています。その支援のため浜松市もこの制度を設けています。

昨年度は、世帯あたり10万円の補助制度を150件、年間1500万円の予算で補助を行いました。設置希望数が増えたことから、今年度当初予算では1世帯あたり補助額を7万5千円に引き下げ、その代わりに件数を200件分に増やし、前年同額の1500万円を予算化していました。

相変わらずニーズが高いこともあり、今回の補正予算で、100件分追加し合計300件分まで枠を広げました。

これはこれで、一步前進ではあるのですが、他所に目を転じると…、昨年視察に行った愛媛県松山市では、これまでも太陽光発電システムの普及促進のために、2000年からの7年間で8億円を超える設置補助を行っており、さらに今後2016年までに普及台数を倍増するとの目標を掲げています。

補助制度も1件あたりの上限を一般で40万円(5KW)、さらに大型施設には最大100万円の補助制度も用意し、総額7000万円以上を予算化しています。

松山市の発想は非常にユニークです。私は、浜松市もこれまでの延長ではなく、少し視点を変えた発想が必要ではないかと思えます。

施設利用に関する条例改正等

条例関係では、新たに「指定管理者による公の施設の管理に関する条例」が提案されています。

これは、これまで導入された多くの指定管理者が、今年度末に契約更新をむかえることから、4月に示された「指定管理者制度の実施に関する基本指針」に基づき、今後、選定のルールや事業評価をキチンと行うためのものです。これまでも指定管理者導入後のチェックが甘いなどの指摘があったのですが、今後は、議会としても、条例に基づき、しっかりとチェックをしていく必要があります。

なお、今議会では、多くの市民が利用している「公共施設」の利用ルールの統一に向けた関係条例の改正が提案されています。

来年早々には、インターネット予約システムの「まつぼっくり」もリニューアルされることになっていますが、私の所属する建設委員会でも、いくつかの公園利用に伴う条例改正がありますので、今後、調査して、ブログなどでご報告したいと思えます。

意外に(?)おもしろい「全国市議会議長会」のHP

「意外に」と書くと怒られそうですが、「全国市議会議長会」のHPには面白いデータがたくさんあります。

後援会だより6月号では、議長任期について「任期1年の浜松市は少数派」とのデータを示しましたが、これは市議会議長会のHPに載っていたものです。ちなみに議長任期1年の市は、H18年末には249市ありましたが、H19年末には240市に減っています。合併で減ったのか、任期を見直したのかはわかりませんが、浜松市は、依然、少数派です。

さて今日ご紹介するのは議員定数と報酬です。全国806市と東京特別区のデータなので、見るだけでも大変ですが、浜松以上の規模(法定定数56人以上)の議会を抜粋してデータを下表にまとめてみました。

地方自治体の議員定数は、地方自治法91条で「上限」が定められており、市の場合は次のようになっています。

5万人未満	26人
5万人以上～10万人未満	30人
10万人～20万人	34人
20万人～30万人	38人
30万人～50万人	46人
50万人～90万人	56人
(*90万人以上は人口50万を超える数が40万を増すごとに8を56人に加えた数)	
90万人～130万人	64人
130万人～170万人	72人
...などとなり、上限は96人となっています。	

浜松は法定定数56で現行54人ですが、法定定数どおりという市は少なく、ほとんどの市で減員しています。中には八王子市のように、法定定数16人というところもあります。

この他の市で、最も削減数が多いのは、ご存知「夕張市」で、法定定数26人のところ、現在9人(17人)となっています。また大阪府の大東市も法定34人に対し17人(17人)としています。

議員報酬はご覧のとおりです。最高額は大阪市なんですね～。

データは「市議会議長会」で検索すればご覧になれます。みなさんもお気づきの点や聞きたいこと、疑問点などがありましたら、お気軽にご連絡ください。

	人口 (万人)	法定 定数	現行 定数	差	報酬 (万円/月)
横浜市	362.2	96	92	4	97.0
大阪市	251.3	96	89	7	102.0
名古屋市	223.3	88	75	13	99.0
札幌市	187.9	80	68	12	86.0
神戸市	154.8	72	69	3	93.0
京都市	139.1	72	69	3	91.2
福岡市	139.0	72	63	9	88.0
川崎市	136.3	72	63	9	83.0
さいたま市	119.8	64	64	0	80.8
広島市	114.6	64	55	9	86.0
仙台市	100.7	64	60	4	82.4
北九州市	98.6	64	64	0	88.0
千葉市	93.4	64	54	10	77.0
世田谷区	83.9	56	52	4	61.9
堺市	83.2	56	52	4	78.0
浜松市	82.1	56	54	2	64.8
新潟市	80.4	56	56	0	65.3
静岡市	72.0	56	53	3	66.3
相模原市	69.0	56	52	4	67.0
岡山市	68.4	56	52	4	71.0
練馬区	68.2	56	50	6	61.5
大田区	66.7	56	50	6	61.4
熊本市	66.5	56	48	8	67.8
江戸川区	64.5	56	44	12	62.1
足立区	62.8	56	50	6	61.9
鹿児島市	60.2	56	55	1	68.6
船橋市	57.8	56	50	6	61.3
八王子市	54.2	56	40	16	59.0
姫路市	53.3	56	43	13	70.4
板橋区	52.8	56	46	10	60.0
杉並区	52.2	56	48	8	59.9
松山市	51.4	56	45	11	62.3
宇都宮市	50.2	56	50	6	63.7
東大阪市	49.2	56	46	10	70.0

最近のブログから

バイクのふるさと(8/30)

“ふるさと”って、イ響きですよね…。

今日、明日の2日間、浜松では「バイクのふるさと はまつ2008」が開催されます。バイク好きの私としては見逃せないイベントですので、ちょこっと覗いてきました。

浜松は、自他共に認める「バイクのふるさと」。

かつては幾多のメーカーがあったといえます。しかし今、その名にも陰りが見えています。

わが社(スズキ)の本社は浜松ですが、バイクの組立工場は愛知県豊川市です(エンジンは浜松製)。

またヤマハさんは磐田市でバイクを造っていますし、ホンダさんの組立ラインも熊本に移管されることから、今後、浜松から出荷される完成車はなくなってしまいます。

その意味では、浜松は“カタチ”としては「バイクのふるさと」ではなくなってしまいかもしれません。

しかし、バイク発祥の地としての“ハート”は、これからも必ず受け継がれる…と確信しています。

私は16歳から30年間、ずっとバイクに乗ってきました。ちなみに、これまで乗りついできたバイクは、スズキ GA50……

<この続きはブログをご覧ください>

http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/2008/08/830_2008.html

最新の記事はコチラからどうぞ！

創ろう！元気な浜松【浜松市議会議員 田口 章】

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

【編集後記】

9/1は「防災の日」です。でも、なぜこの日が「防災の日」なのか知らない若い人も多いのでは……。関東大震災は歴史上のできごととなり、阪神大震災からも13年が経過しました。しかし東海地震は「いつ起きてもおかしくない」と言われています。

8/31(日)に入野町では住民、自主防、消防団による防災訓練が行われ、早朝5:30から多くの地域住民のみなさんがバケツリレーに汗を流しました。

地震以外にも、日本各地でこれまでの予想を超える豪雨が降るなど、自然災害が猛威をふるっています。自分たちの命は、まず地域に住む自分たちで守ることで。この機に、再度、非常時の備えを確認したいものですね。(章)



8月の活動報告

- 01(金) 斉木武志を育てる会
- 05(火) 県教組意見交換会
- 06(水) 会派ミーティング
- 07(木) 多文化共生勉強会
- 08(金) 入野地区自治会連合会
- 09(土) ふるさと夏まつり(佐鳴湖花火大会)
- 10(日) 佐鳴湖クリーン作戦 天竜水フォーラム
- 12(火) 政策条例勉強会
- 17(日) ポートフェスティバル in 天竜
- 18(月)~22(金) 社会保障制度研修会(大津)
- 24(日) スズキ労組役員研修会
- 25(月) 建設委員会
- 26(火) 行財政改革推進特別委員会
- 27(水) 至誠会勉強会
- 28(木) 全員協議会
- 29(金) 戸田久市氏受賞祝賀会
- 30(土) アソメック労組大会
ユタカ技研労組大会
バイクのふるさと はまつ2008
スズキ磐田工場夏まつり
- 31(日) 西区第一方面隊訓練

9月の活動予定

- 01(月) 会派ミーティング
- 02(火) 連合浜松との意見交換会
- 04(木) 本会議(初日)
- 06(土) 入野地区自治連会議
- 07(日) スズキ労組 支部委員研修会
- 08(月) 政策条例勉強会
- 12(金) 本会議(代表質問)
- 13(土) スズキ相良・湖西 秋まつり
- 14(日) スズキ労連定期大会
- 15(月) 入野地区敬老会
- 16(火) 本会議(代表・一般質問)
- 17(水) 本会議(一般質問)
- 18(木) 建設委員会
- 20(土) ソミック石川労組大会
教組西部地区勉強会
- 21(日) 行革審傍聴
スズキ労組 定期大会
- 25(木) 市民クラブH21 年度予算要望
- 26(金) 至誠会勉強会
- 27(土) 連合列島クリーンキャンペーン
スズキ本社 秋まつり
- 30(火) 本会議(最終日)